


もうすぐ ぜんこくがっこうきゅうしょくしゅうかん 全国学校給食週間


がはじまるよ

「全国学校給食週間」ってなあに？



③ ララ物資とは
アメリカに住む日系人が戦後食料不足で困っていた「日本の子どもたちを救おう」と立ち上がり、たくさんのおアメリカ国民が寄付に応じて、援助物資が日本に送られました。

昭和21年12月24日に贈呈式が行われました。その日を「学校給食感謝の日」としました。



① 日本の給食は、明治22年に山形県の小学校でお弁当を持ってこられない子どもたちに昼食を用意したのが始まりです。

「おにぎり、焼魚、菜っ葉の漬物」が日本最初の給食でした。



④ 今では、冬季休業と重ならない1月24日～30日を「全国学校給食週間」としています。

現在は、脱脂粉乳はミルクへ、コッペパンは米飯へと変わり、内容もとても充実しました。



② アメリカから小麦粉も送られ、昭和25年にはパン給食が開始されました。

戦争で一時中断していましたが、アメリカからの支援（ララ物資）により、昭和21年に学校給食が再開されました。

学校給食週間新聞

がっこうきゅうしょくしゅうかんしんぶん

1月24～30日は全国学校給食週間

今年のテーマ「食べて知ろう！わたしたちの三木市」

No. 1
1月21日
(金)

「金物のまち」として発展してきた三木市。鍛冶職人が暑い夏を乗り切るために食べた「かじや鍋」をはじめ、山田錦やぶどう、いちご、様々な季節の農作物などおいしいものがたくさん採れる自然豊かな土地柄です。酒米「山田錦」は、全国一の生産量を誇り、生食用ぶどうの栽培面積は県下一位を誇ります。また、山陽道や中国道が通り、自然豊かでありながら、都市部との交通のアクセスがよいのも強みで、様々な企業が三木市に拠点をしています。

給食を通して三木のことをもっと知っていきましょう！

来週からの全国学校給食週間を楽しみにしててくださいね。



1月24～28日は、三木市産野菜100%使用予定です。

